

事業に直結した研究開発

当社グループは、エネルギーや情報を「伝える」というコア技術をベースに、顧客のニーズに的確に応えていくための研究開発に注力しています。

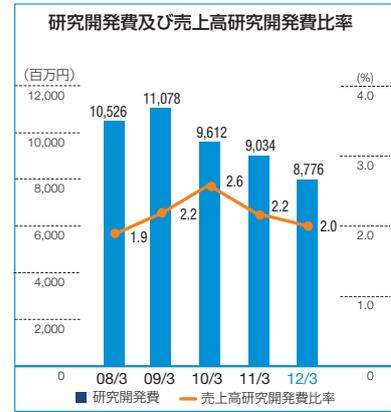
研究開発体制は、技術開発本部と事業本部の開発部門で構成しており、両部門が連携して国内外の市場・技術動向の把握や研究開発スタッフの育成に努めながら、時代に先駆けたスピーディな技術・製品の開発を進めています。技術開発本部では、技術企画センタが外部との連

携も視野に入れた研究開発戦略を立案し、その戦略に沿って技術研究所が技術や製品の開発を進めています。事業本部の開発部門では、技術開発本部と連携しながら事業に直結した製品開発に取り組んでいます。

また、知的財産については、重点ターゲット分野の製品・技術に関する特許取得に注力するほか、事業のグローバル化に対応して海外における特許出願を強化しています。2012年3月期における特許出願件

数は、国内566件、海外275*件でした。

*出願延べ件数。実用新案含む。



2012年3月期の研究開発の成果

2012年3月期における当社グループの報告セグメントごとの研究開発項目及びその成果は、次のとおりです。なお、当連結会計年度の研究開発費は87億76百万円、売上高に占める研究開発費の割合は2.0%となりました。

産業インフラ

当セグメントでは、産業用電線・ケーブル、通信用電線・光ファイバに関連する伝送・接続技術の研究開発に取り組んでいます。2012年3月期における当セグメントの研究開発費は、15億38百万円でした。

- <2012年3月期の研究開発成果>
- ①鉄道車両用ハロゲンフリー特別高圧電線の開発
 - ②柔軟性に優れた『フレックスパワーケーブル』の開発
 - ③低摩擦・低外傷ハロゲンフリー多対Cat.5eLANケーブルの開発

電機・自動車部品

当セグメントでは、機器用電線、電子機器、及び巻線に関連する伝送・接続技術、自動車用ホース・電装部品の研究開発に取り組んでいます。2012年3月期における当セグメントの研究開発費は、10億3百万円でした。

- <2012年3月期の研究開発成果>
- ①高速伝送用メタルケーブルの開発
 - ②光HDMIケーブルの開発
- (注) HDMIは、HDMI Licensing LLCの登録商標です。

情報デバイス

当セグメントでは、情報ネットワーク機器、携帯電話基地局用アンテナ、化合物半導体等の研究開発に取り組んでいます。2012年3月期における当セグメントの研究開発費は、43億29百万円でした。

- <2012年3月期の研究開発成果>
- ①Apresia15000シリーズBFS機能の開発
 - ②Apresia 16012XL製品化
 - ③高発泡ポリエチレン絶縁アルミコルゲート高周波同軸ケーブルの開発

金属材料

当セグメントでは、電子部品材料に使用される銅条、リードフレーム、TAB、銅加工品及び超電導線等の研究開発に取り組んでいます。2012年3月期における当セグメントの研究開発費は、19億6百万円でした。

- <2012年3月期の研究開発成果>
- ①液晶パネル、タッチパネル配線用銅合金ターゲット材の開発